



葛城市立新庄北小学校

トベラの木



学校だより No.3

校長 中川 純一

7月3日 地震発生時避難訓練

7月3日に地震発生時避難訓練を行いました。東京消防庁のリモート学習など、各学級で事前学習を行い、9:50地震発生、1分間の強い揺れがあり、停電を想定して放送が使えない訓練をしました。ほとんどの児童が真剣に訓練に参加していましたが、避難時や運動場で集まったときに私語をしていた児童が一部いたので、地震の恐ろしさと訓練や備えの大切さを児童に話をしました。以下はその主な内容です。

1995年 阪神・淡路大震災

阪神・淡路大震災は、兵庫県淡路島北部を震源として発生し、マグニチュード7.3、死者行方不明者は6437名となった地震です。

地震発生直後から地震が原因とみられる火災が数多く発生しました。

2011年 東日本大震災

東日本大震災は、三陸沖を震源として発生し、マグニチュード9.0、死者行方不明者は、2万2千人を超えた地震です。

津波による被害が大きかった地震であり、死者の約9割が津波によるものでした。

2024年 能登半島地震

能登半島地震は、石川県能登地方を震源として発生し、マグニチュード7.6、死者行方不明者は、248人(4/29時点)の地震です。

木造住宅の倒壊、土砂崩れによる被害によって、多くの犠牲者が出ました。

2035年? 南海トラフ巨大地震?

2035年前後に起こると言われている南海トラフ巨大地震は、東海地方・近畿地方・四国地方の広い範囲で、マグニチュード8~9で、葛城市も震度6~7の大きな揺れが起こると想定されています。

• 震度7: 127市町村 • 最大津波高 10m以上: 79市町村
死者・行方不明者数、全壊焼失棟数

• 最大 約 32.3万人 (冬・深夜に発生) • 最大 約 238.6万棟 (冬・夕方に発生)
生活への影響

• 避難者数: 最大 約 950万人 • 食糧不足: 最大 約 3200万食 (3日間)

「備えあれば憂いなし」

お家でも備えをして、いのちを守る取組を

(東京消防庁 リモート防災学習より)

★非常用品はなぜ必要か、何を準備すべきか家族で話し合っておく。

- ・非常用品はどうして必要？
- ・大きな地震が起こった時、電気、ガスや水道が使えなくなる可能性が高い。
- ・普段、買い物をしているスーパーや店も被害を受ける。
- ・道路も壊れて、食べ物や生活に必要なものを運んでくるのが難しくなる。
- ・救援物資が届くまでに時間がかかるので、最低でもおおよそ3日分の食料や水を準備しておく必要がある。

★家族で話合っておこう

- ・家族で避難場所や避難経路を決めておく。
- ・地震が発生した時の出火防止や初期消火などは、家族の誰もができるようにしておく。
- ・家族が離ればなれになった場合の連絡方法や集合場所などを決めておく。

★家具の転倒・落下・移動対策をしておこう

自分のいる部屋は安全？家の中を点検してみよう。今までに起こった地震で、家のたんすや本棚、テレビ、冷蔵庫などの下敷になって、けがをした人、亡くなった人が大勢いた。

- ・家具は、避難のじゃまにならないように配置し、上には物を置かないようにする。
- ・リビングのソファなど、普段いることが多い場所の近くに物を置かないようにする。
- ・寝る部屋には、なるべく家具を置かない。
- ・廊下や部屋の出入口には、家具を置かない。
- ・家具が倒れたりしないように、固定しておく。
- ・「L型金具」を使い、家具と壁をネジで直接固定する方法が一番効果がある。
- ・「ポール式」器具と「ストッパー式」器具を組み合わせる固定する方法もある。
- ・ガラスには、割れてしまっても飛び散らないようにフィルムを貼っておく。



東京消防庁
リモート防災学習



ありがとうございます
ございます